

令和5年8月

## PIARC 日本国内委員会からのお知らせ

### PIARC 団体会員および個人会員の皆さまへ

日頃より PIARC 活動へのご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。ROUTES/ROADS 最新号とともに、PIARC 技術委員会によるレポートをご案内差し上げます。最新号は、「ジェンダーと多様性」の特集となります。巻頭の新着情報には、本年5月に神戸で開催された「道路橋の点検、マネジメント、リハビリテーションに関する国際ワークショップ」の記事が掲載されています。また、本年10月に開催予定のPIARC プラハ大会の概略プログラムも記載されています。ROUTES/ROADS 最新号をぜひご一読ください。

### 1. ROUTES/ROADS 最新号 (397号)



また、本年10月2～6日に開催予定のPIARC プラハ大会の準備は本格化しており、参加者を魅了する各セッションのプログラムが決まりつつあります。

PIARC 会員の皆様におかれましては、論文投稿やセッションへのご参加、日本パビリオンへの出展等、多大なご貢献に御礼を申し上げますとともに、引き続きのご支援を何卒お願い申し上げます。プラハで皆様にお会いできますことを楽しみに致しております。

～プラハ大会の事前プロシーディングスのご案内～  
プラハ大会の事前プロシーディングスが公開されました。大会登録をされた方は、各セッションの詳細プログラムや全論文をご覧いただけます。大会参加登録がまだの方は、ぜひPIARC 会員割引をご利用ください。

【事前プロシーディングスサイト】

<https://pre-proceedings-prague2023.piarc.org/en/>



### 2. 今号の主な記事の紹介

#### 【WHAT'S NEW】

- ✓ PIARC 最新情報(※神戸ワークショップ記事を含む) -4 頁

#### 【今号の特集】

- ✓ 世界は変革し、PIARC も変革する！ -21 頁
- ✓ 変革への情熱 -23 頁
- ✓ 初の女性実行委員 -25 頁
- ✓ アルゼンチン道路協会会長 -27 頁
- ✓ 世界大会の経験からコミュニケーションへ -29 頁
- ✓ インテリジェント交通 -33 頁
- ✓ 貨物一筋のキャリア -36 頁
- ✓ マルチモダリティへの貢献 -39 頁
- ✓ 輸送とエネルギーインフラの専門家 -43 頁
- ✓ モットーとしての戦略 -44 頁
- ✓ 環境を心に刻む -46 頁

### 【特集】ジェンダーと多様性

#### 【今号の発行にあたって】

今号では、PIARC の重要な価値観の一つとして認識されているジェンダーと多様性を促進するための戦略を紹介しています。女性の専門家によって書かれたさまざまな記事を通して、道路分野におけるジェンダーと多様性に関する知見が共有されています。そこにはPIARC および道路業界における認識向上への大きな貢献を見て取ることができます。

### 3. PIARC テクニカルレポートのご紹介

【レポート名】すべては人々のためにある～多様性の明確化と推進、そして新たな人材マネジメント～

#### 【レポート概要】

本報告書は、技術委員会 1.1 「交通行政のパフォーマンス」によって作成された技術報告書です。報告書の目的は、各国の交通当局における組織内の多様性推進に関する戦略や課題を調査し、世界的に比較し分析することです。

分析結果として、1. 多様性の水準は、その国の雇用の平等に関する法律の有無や強度に依存すること、2. 多様性の水準は、経済的・地政学的要因に依存する（例：比較的経済が豊かなヨーロッパ諸国が高水準である）こと、3. 多様性推進の指標が不明瞭で管理しにくいことが多様性推進の妨げになっていること、などが挙げられています。結論として、多様性推進のためには、組織上層部のリーダーシップとコミットメントが最重要であると述べられています。本報告書が組織管理、とりわけ、多様性の推進に携わる皆様の業務の参考になれば幸いです。

#### 【レポート紹介ページ】

[Detail of a publication | Virtual Library of PIARC | It's All About People](#)



【レポート名】新しい推進技術が道路インフラの資金調達に与える影響

#### 【レポート概要】

本報告書は、技術委員会 1.3 「資金と調達」によって作成されたブリーフィングノート(BN)です。本BNには、ガソリンの代替となる新エネルギーの推進が、道路インフラ整備・維持管理の資金調達に与える影響の分析結果がまとめられています。

現行のガソリン税単独による財源では、今後の道



路インフラの整備・維持管理が困難となる可能性が高いこと、持続性確保のためには、新たな財源

（例：給電への課税・走行距離による課税など）との組合せが必要であることが論じられています。また、新たな課税に対する世論の同意を得ることが非常に困難であることも示唆されています。

代替エネルギーの推進による道路財源への影響に焦点をあてた興味深い報告書となっていますので、ご一読くださいますと幸いです。

#### 【レポート紹介ページ】

[Detail of a publication | Virtual Library of PIARC | Impact of New Propulsion Techniques on Funding Road Infrastructure](#)



【レポート名】道路橋における補修・補強の新材料

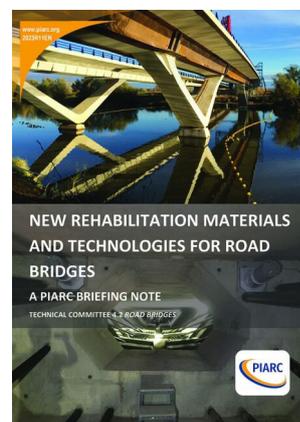
#### 【レポート概要】

本報告書は、技術委員会 4.2 「橋梁」によって取りまとめられたBNです。本BNには、各国の老朽化した橋梁の補修方法、および補強方法（補修と同時に耐荷重性能等の向上を目的としたもの）の事例が収集されています。

これら事例の約半数が、炭素繊維強化プラスチック（CFRP）、ガラス繊維強化プラスチック（GFRP）、超高強度繊維補強コンクリート（UHPC）を用いた補強・補修方法であり、世界的にも、これらの新技術が一般的になりつつあることが伺えます。本報告書が、世界で活躍する橋梁・コンクリート技術者の皆様のご参考になれば幸いです。

#### 【レポート紹介ページ】

[Detail of a publication | Virtual Library of PIARC | New Rehabilitation Materials and Technologies for Road Bridges](#)



PIARC 活動に関するご意見、ご質問等ございましたら、以下までご連絡いただければ幸いです。

PIARC 日本国内委員会事務局 安藤：[ando@road.or.jp](mailto:ando@road.or.jp)  
PIARC 本部事務局 妹尾：[kei.senoo@piarc.org](mailto:kei.senoo@piarc.org)